

2023年2月7日 第88回運輸政策セミナー

鉄道開業150周年を経て次の時代へ ～当研究所の鉄道関係研究調査を振り返って～
宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日は、本年最初の運輸政策セミナーであります。大変多くの皆様にご参加の登録をいただいております。また、寒い中、この会場にも多くの皆様にご参加を頂いております。誠にありがとうございます。

昨年は、我が国に最初の鉄道が開業してから150周年の節目の年でありましたが、当研究所は、10月14日の鉄道記念日に先駆けて、9月21日にJR東日本との共催により、「鉄道開業150年記念セミナー～文明開化・技術革新の先駆者たる鉄道と発展する都市の歴史と未来～」を開催いたしました。おかげさまで、大変多くの皆様にご参加をいただき、貴重なご意見やご感想をいただきました。

この記念セミナーでは、本日の基調講演をお願いしています政策研究大学院大学客員教授・名誉教授の森地茂先生より、史実とデータに基づき、戦前戦後の150年に及ぶ鉄道政策を振り返った上で、鉄道の未来を展望していただきました。この講演を通じて、明治の文明開化以来、それぞれの時代時代に対応した鉄道政策の実施と鉄道事業者の取組によって、我が国の今日の鉄道が存在することが改めて概観できるとともに、将来の課題や今後への期待も示されました。

当研究所は、今から55年前の1968年に運輸経済研究センターとして発足以来、大都市圏の鉄道整備計画の策定、個別の新規路線計画や整備手法・財源、鉄道の運賃制度、防災、環境、海外の鉄道整備支援など、鉄道の整備・発展やそのための政策検討に役立つ数多くの研究調査を実施してまいりました。

これらの鉄道分野の研究実績は、当研究所がこれまでに行ってきました航空、自動車交通、海事など他の分野の研究実績と比較して、ひときわ多くなっております。また、鉄道分野の研究調査を担当する研究員も、プロパーの研究員はもとより、大学、運輸省・国土交通省、鉄道事業者、鉄道関連の独立行政法人・研究所・コンサルティ

ング会社などの出身者と多岐にわたっています。

このような当研究所における鉄道分野の研究調査の概要につきましては、1月31日発行の最新の「運輸総研だより」に掲載しており、この「運輸総研だより」は当研究所のHPでもご覧いただけますので、ご関心をお持ちの方は是非ご参照頂ければ幸いです。

さて、鉄道に関する政策シンクタンクとしてこのような立場にある当研究所としては、鉄道開業150周年というタイミングで一旦立ち止まって、研究調査という視点から鉄道の歴史を見つめ直し、いわゆる「温故知新」によって、これからの鉄道の発展のための政策や取組の手がかりを得るべく、本日の運輸政策セミナーを企画・開催したところであります。

本日のセミナーでは、まず、当研究所の研究アドバイザーとして種々ご指導いただいている森地茂先生から、「運輸総合研究所の鉄道関係の研究調査実績」と題して基調講演を行っていただきます。森地先生には、ご多忙の中にもかかわらず、膨大な数と量に達する当研究所の研究調査実績を整理、分析、体系化していただきましたことに感謝申し上げます。

続く座談会では、歴代の研究所長として、東京都市大学名誉総長で、一般社団法人日本プロジェクト産業協議会副会長をされている初代所長の中村英夫先生、2代目所長の森地茂先生、そして、3代目所長の一橋大学名誉教授の杉山武彦先生にご登壇頂きます。そして、当研究所の山内弘隆所長のモデレートにより議論をして頂き、その後、ご参加いただいている皆様との質疑応答を行います。

本日のセミナーが、ご参加いただいております皆様にとりまして、新たな気づきや、今後の取組への有益な示唆に富んだものとなりますことを期待いたしまして、私の挨拶といたします。

(以上)